

鹿ノ台川柳教室 十一月度句会

十一月十九日(月) 西集会所

席題 お題「風」

橘 正清選

こわいよと痛風氣にしビール飲む
空腹に夜風が痛くしみわたる
椿散る風よしばらく休んでて
風に舞うもみじの行方秋景色
リタイアの男に風は知らん振り
台風に肩で風切るシヤボン玉
吹く風に誘われてゆく散歩道
親の愛どこ吹く風のどら息子
のらりくらり風もないのに揺れる人
風を読み多勢について裏目です
追風に乗ってはみたい一度でも
戸をたたく誰かと思いい目をさます
風が吹き落葉の里に仏見る
倭逆らわず風のまにまに世を送る
軸魂がもどり鬼火のアゲンスト

宿題 お題「落ち葉」(連記)

八木哲子選

粗大ゴミ妻に呼ばれる定年後
役終えて散りゆく枯れ葉ひっそりと
落ち葉焚き迷惑ですと風情ない
落葉ふる季節うらんで竹ぼうき
厚いほど心にひびく枯葉道

この落ち葉小判に変えて狐さん
吹きだまり落ち葉同士が肩寄せる
掃き清めまだかまだかと客を待つ
落ち葉舞う宇宙の果てに仏見る
潔よし落ち葉は過去を語らない
ぬれ落ち葉乾いたとたん飛んで行き
散り際は心得ている花の首
吾が亭主関白やめて濡れ落ち葉
落葉踏むと優しい声に立ち止まる
哀しくて落葉が踏めぬホームレス
秀干からびて落葉の下の猜疑心
軸落ち葉踏みあの人来るもう来ない

宿題 自由吟(共選)

岩崎よし尚選

ひな人形買えば今度はランドセル
ボス休場戦国場所盛りに上がる

アキラ
哲子

待合室病いの重さ競い合う

英二

悲劇とも知らず演じていた喜劇

良一

無駄な日もあって明日を太くする

よう子

川柳に楽しみ見つけ文字遊び

登美

急所刺す言葉きしきし研いでいる

義雄

身の丈に合った我慢が弛み出す

勝利

名残行く平成の秋見届ける

哲子

合鍵も心の鍵を開けられず

幸男

子が巢立ちほつと畳んだ親の傘

義雄

倭紅引いた孫を見直す七五三

アキラ

軸リンゴ落ちちよつと景気に秋の風

よし尚

宿題 自由吟(共選)

播本英二選

夢叶う夢をみて醒めああ夢か
合鍵も心の鍵を開けられず
バラの香に酔ってひととき夢ごこち
リンゴ落ちちよつと景気に秋の風
雑巾が天命かもとひとり言つ
悲劇とも知らず演じていた喜劇
身の丈に合った我慢が弛み出す
縛られて時という名のワイヤレス
ひな人形買えば今度はランドセル
紅引いた孫を見直す七五三
倭子が巢立ちほつと畳んだ親の傘
軸七五三この娘もやがて母になる

よし尚
幸男
登美
よし尚
広子
良一
勝利
正清
アキラ
義雄
英二

宿題 お題「若く」(互選)

②素通りをされてヤングの吸血鬼
クラス会目いっぱい若作り
この歳で若いですねはイヤミかな
若いと苦いどこか似ている感じあり
卓球界若い力の下剋上
③若作りしても隠せぬ持久力
アルバムの若い貴方を誘い出す
④若い日の夢さつぱりとゆでこぼす
赤シャツに青い理想の彼が好き
若さ故吹き出す毒が羨まし
⑤もう若くないよと笑う水溜り
ヤングマン歌った僕に孫できる
若作りすれど姿見容赦せず

正清
登美
よし尚
英二
哲子
勝利
義雄
よう子
義雄
哲子
アキラ
よし尚

⑥ステントを入れて思考のリニューアル
⑧脳トレのパズル余生を若くする

正清
良一

⑫年金で若さ買い足す美容院 広子
⑬秀若ぶっているがほのかにサロンパス 乃り子

鹿ノ台川柳教室会員の新聞投句 掲載された句

(十月十五日〜十一月十八日各紙掲載分)

十月二十四日 題「イメージ」 英二
あの人も黙っていれば知識人 よう子
白木蓮にふわり先妣の顔浮かぶ 正清
ファンタジー裏側にある生き地獄 アキラ
笑顔ひとつでイメージは変わります
十月三十一日 題「地図」

朝日新聞 田中新一選

十月十八日 題「補う」 英二

杖になると言つてた人が先に逝き

十月二十五日 題「燃える」

運動会祖父母が燃える幼稚園 アキラ

ネット炎上闇に紛れた人の性 義雄

十一月一日 題「人気」

溜飲の下がるコラムへ湧く人気 よう子

十一月八日 題「値打ち」

人生が透けて見えますお葬式 英二

毎日新聞 山田順啓選

十月十八日 題「掃除」

厨房は私の城だよく磨く よう子

十月二十五日 題「虹」

迂回して消えゆく虹の後を追う 勝利

倒木に折り重なって消える虹 正清

十一月一日 題「ゲーム」

マスゲームちよつと乱れて人間味 よう子

寝返つて味方が敵になるオセロ アキラ

読売新聞 阪本高士選

十月二十一日 題「時計」

思い出を作りタイムマシン買う 正清

十一月四日 題「くすぐる」

移り気な女の腸をなでてみる 正清

くすぐるを忘れています半世紀 幸男

十一月十一日 題「大」

うらぶれた心を放つ大宇宙 正清

十一月十八日 題「土産」

まいないに牛一頭を下げてゆく 正清

奈良新聞 居谷真理子選

十月十七日 題「届く」

ふるさと納税後ろめたさと楽しみと 英二

また届く年寄り向けの詐欺葉書 幸男

十月十四日 題「裏」 幸男
裏の顔表の顔も真の顔
妻も子も知らない僕の裏の顔 英二
裏を読むことも覚えてもう大人 アキラ
人生の裏も知ってる皺の数 よう子

奈良新聞 自由吟

十月十八日 大楠紀子選 正清
逃げ水に明日の野望がすかを食う
ためらわず延命治療お断わり よう子
枯れ葉舞う今日の私は哲学者 アキラ
宝くじ当たり人生狂いだす 幸男

十一月八日 松本柁子選 正清
脳波までジグザグになる躁の闇
打開策いずも同じシッポ切り アキラ
良薬といわれる陰の副作用 よう子
フリーですトイレの中のわが時間 幸男
十一月十五日 松本柁子選
草の波孤独をかめば虚無の粒 正清
湯煙の向こうの明日を練り直す よう子
新米が美味くて辛い腹八分 アキラ
裏話やっぱり洩れて表沙汰 幸男

*橋正清、林勝利、前田幸男、
三氏は各紙の短歌俳句でも活躍

次回 十二月十七日、十二時十五分開場、西集会所

宿題は「弱い」、「味」、「自由吟」 各二句

* 席題選者 正清 十二時三十分「お題」発表

* 「味」〔連記〕 選者 春代

* 「自由吟」(共選) 選者 よう子 ミノル

* 「弱い」〔互選〕

出句、宿題・席題 とも十三時

自治連合会公認クラブとして活動

「ご自分の生活を、思うことを、五七五に

句会のご見学、ご入会大歓迎、

会費一ヶ月百円です

自治連合会ホームページに句会内容掲載中

問合せ

原 広子 (79・0061)

野々村詮 (090・6961・1292)

お気軽にどうぞ